

「作業療法の視点からみる 『読み・書きの苦手さ』（発達障害）への支援」

発達に偏りを持つ子どもには、『不器用さ』『体のバランスの悪さ』を併せ持つ子どもが少なくありません。読み書きが苦手な子には、『反復練習』が逆効果になることも多いです。読み書き・漢字の苦手さの背景には、感覚の統合の弱さもみられます。読み書きの苦手さ、注意の集中困難な児童生徒に対して、作業療法の視点によるアセスメントの方法、具体的な支援のあり方について、学校教育現場での子ども一人一人への支援に、作業療法の視点を活かした多くの臨床実践を行っておられる、作業療法士の松島佳苗先生からお話ししていただきます。

さらに、参加された方々からの質問や意見等も踏まえながら、医療・教育等のそれぞれの立場から、二次的な障害を予防する支援等についてディスカッションをしていただき、発達障害のある子どもの理解と支援について考えます。是非御参加ください。

日時：平成25年7月26日（金）
13時00分～16時15分
12時30分 受付

会場：文化パーク城陽
ふれあいホール

*できるだけ公共交通機関をご利用ください。

プログラム

● 開会 (13:00)

● 講演 (13:10～14:10) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
リハビリテーション科学コース作業療法学講座 助教 松島 佳苗 氏
作業療法士 地域支援センター「サポートJOYO」巡回相談員

● 重心教育部・病弱教育部・通学高等部の実践紹介 (14:10～14:25)

休憩

● パネルディスカッション (14:40～16:10)

コーディネーター 精神科医、本校校医 有賀 やよい 氏
地域支援センター「サポートJOYO」巡回相談員

パネリスト 京都府総合教育センター 人材育成支援室 チーフアドバイザー 後野 文雄 氏
府専門家チーム

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 助教 松島 佳苗 氏
地域支援センター「サポートJOYO」巡回相談員

京都府立城陽支援学校 地域支援センター「サポートJOYO」地域支援コーディネーター

お 問 い
合 わ せ 先

地域支援センター「サポートJOYO」
センター長 村田 尚美

〒610-0113 京都府城陽市中芦原1-4
TEL 0774(53-7100) FAX 0774(53-4044)
<http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/>

 申込締め切り
7月17日（水）



実践紹介

(14:10~14:25)

重心教育部

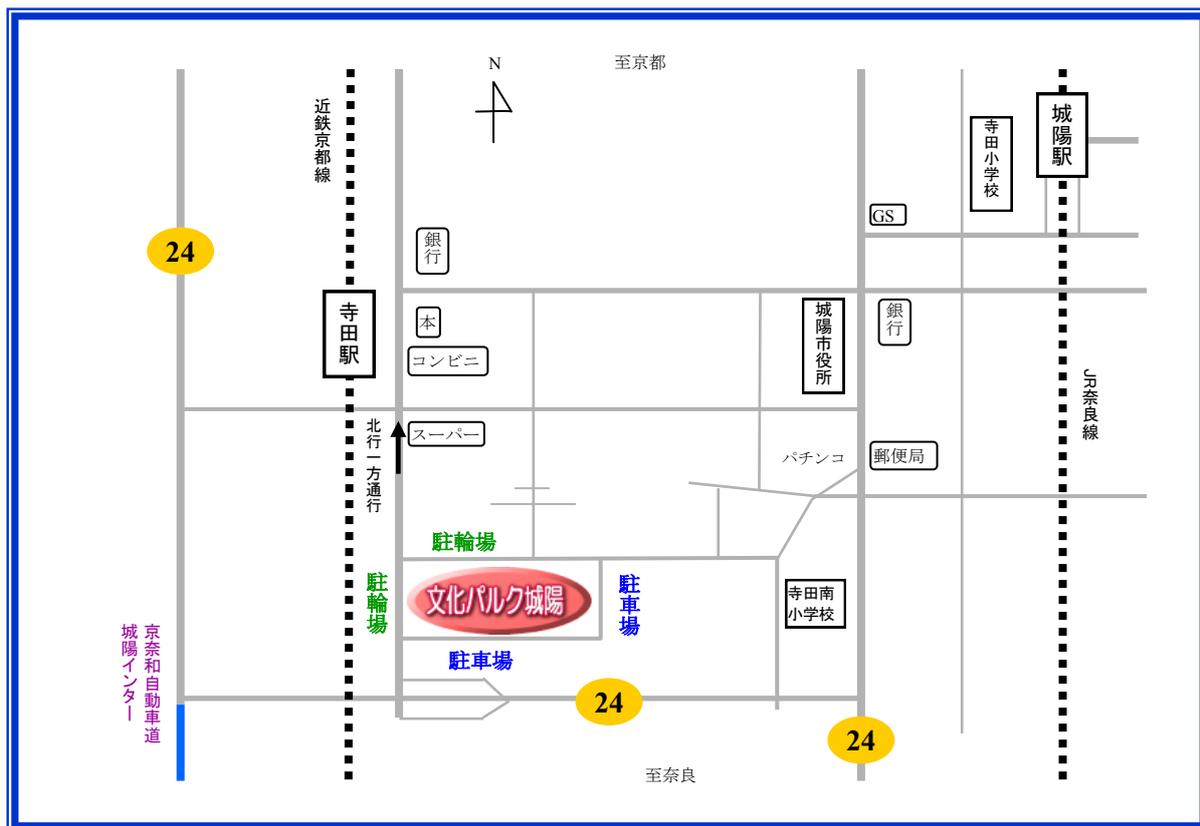
iPadの活用

病弱教育部

病弱通級指導教室

通学高等部

地域の特別支援学級との連携



* できるだけ公共交通機関をご利用ください。

* 文化パーク城陽へのアクセス *

〈近鉄京都線〉

寺田駅下車

東出口より南へ450m

〈JR奈良線〉

城陽駅から南西へ

1300m

〈駐車場〉約300台収容 (有料)